

【評価目標一覧】

	タイトル (フェイスシートのタイトルと一致)	自己評価結果 (◎、○、△、×)	その他 (県に支援してほしいこと等)
目標 1	高齢者がいきいきと健やかに暮らせる生きがい施策の充実	○	
目標 2	高齢者が安心して快適生活できる福祉の充実	○	
目標 3	介護保険制度の適切な運営と地域包括ケアシステムの推進	○	

※設定した評価目標の数に応じて欄は適宜修正してください。

- ・「自己評価結果」欄は、目標に対する実施内容の達成状況について、「◎達成できた（数値目標があるものについては80%以上達成）、○概ね達成できた（60～79%）、△達成はやや不十分（30～59%）、×達成できなかった（29%以下）」により記載してください。
- ・「その他」欄は、何かあれば記載してください。
- ・本様式に、設定した評価目標数と同数の取組みと目標に対する自己評価シート（別紙様式2－3）を添付してください。
- ・フェイスシート（別紙様式2－2）は既に提出しているものから変更がある場合に提出してください。
- ・別紙様式2－2、2－3について、同程度の項目を網羅した独自様式を作成している場合には、そちらを添付願います。（その場合であっても、本様式は作成・提出が必要です。）
- ・今回提示いただく評価目標や取組みは、保険者機能強化推進交付金評価指標該当状況調査（指標Ⅰ－④）で回答いただいた内容とも基本的にリンクすることになります。

年度	令和元年度
----	-------

前期（中間見直し）	
実施内容	
自己評価結果	
課題と対応策	

後期（実績評価）	
実施内容	
新規2箇所のお試し開催 サロンの新規開設 2箇所 22人の新規会員（令和元年度末現在 サロン数 19箇所） 令和元年度始め 老人クラブ会員数 421人（11団体）	
自己評価結果	
【○】 ・お試し開催から2箇所の新規開設に至った。 地区の世話人の人材がいないところは、開設することができず、根気強く行政がかかわる必要がある。 ・年度初めに老人クラブの状況を継続して把握している。	
課題と対応策	
・小さな集落では世話人のなり手がいないので、世話人会を設立し、他の地区へ支援できる体制づくりと、支援団体の育成をしていく。 ・お茶のみだけから始められるような仕組みづくり、様々なテーマで飽きのこないメニューの提供を検討し、新規サロンの立ち上げと新設サロンの定着化を図る。 ・老人クラブは令和2年度初めでは会員数392人（10団体）となっており、減少傾向にある。高齢化が主な原因だが、若い層の参加意識の低下も課題となっている。令和2年度は改めてイベントなどへの参加声がけなどに力を入れていく。	

※シートの作成にあたっては「介護保険事業（支援）計画の進捗管理の手引き」（平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課）38ページ～を参照してください。

年度	令和元年度
----	-------

前期（中間見直し）
実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）
実施内容
いきいき百歳体操の実施 各種健康教室、介護予防教室の実施 専門職が参画した地域ケア会議の開催
自己評価結果
健康づくり・介護予防教室【◎】 介護予防では平日保健センターを利用した健康づくりの場への参加が年間延べ 4,921 名程と前年度比 800 名増となっている。またサロン活動支援などを目的に出前講座も年間延べ 25 回行った。 令和元年度は、特別な身体測定器を使い、身長体重のみならず上下肢それぞれの体脂肪や筋肉量、水分量などをデータ化する測定も全住民対象に年 3 回行った。継続して測定することで運動の効果を可視化し、具体的な目標も個人ベースで設定できるようにした。運動をしている人としていない人の差なども把握できた。 地域ケア会議【◎】 個別ケース検討の地域ケア会議を 5 回開催し、計 9 ケースについて検討を行いながら個別の課題等について協議した。7 月には県よりリーディングアドバイザーを派遣していただき質の向上も図られた。また、終了後に地域リハビリテーション事業として実地指導なども行った。 11 月のケア会議は地域課題検討会議としても同時開催し、これまでの個別ケア会議から出た地域課題 3 つを挙げ、協議しながら専門職からの情報提供をいただく場とした。
課題と対応策
・各種健康教室及び介護予防教室の参加者の固定化・少数化がみられるため、参加者の個別具体的な課題の設定を通し、結果をフィードバックできる仕組みをとる。また、運動的な視点と合わせ、血液検査等の実施による評価を加え、健診結果と連動させていく仕組みづくりを継続していく。

※シートの作成にあたっては「介護保険事業（支援）計画の進捗管理の手引き」（平成 30 年 7 月 30 日厚生労働省老健局介護保険計画課）38 ページ～を参照してください。

年度	令和元年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容
自己評価結果
課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容
・生活支援コーディネーターの養成講習会への参加 ・各地区座談会の開催 ・認知症カフェの開催 ・在宅医療、介護相談窓口の設置 ・首長、総務課長との協議⇒施策への反映（予算措置）
自己評価結果
【〇】 ・令和元年度は地区座談会を３カ所で２回ずつ開催し、延べ７０人程度の参加があった。昨年度で見てきた村が目指す「ＳＣを中心とした具体的な支えあいの仕組み」を改めて地区ごとに説明しながら、地区ごとに話し合いを進めた。その中で２つの地区により実現に向けた動きがあったため引き続き重点的に支援をしていくことを決めた。その他地区に関しても、より小規模な地区単位で説明会を行うなどしながら具体的地域課題を掌握し、協議体と共に支援体制の強化を図る。 ・在宅介護・医療連携については、相談窓口には病院から４件の相談があった（主に癌のターミナル相談）。 村単独では進まない現状もあるが、最上地区で広域的に対応することで連携を図っている。 ・認知症カフェ参加人数 １回目２３人、２回目２８人、３回目３６人、４回目２４人 計１１１人
課題と対応策
・介護者の集いに代え認知症カフェを実施しているが、介護者を促すためデイサービス等の利用日と重複しない日程調整と複数開催、民生委員との協力、保健連絡員を活用した声掛けを図る中で、参加者の増を図る。また、村内の事業所職員に認知症推進員を要請しており（現在３名）、今後は主催自体もお願いすることで多様性や、各地域の住民が参加しやすくなるよう考えている。 ・第７期計画に具体的に重度化防止のための施策が示されていないため、要綱や運営マニュアルの見直しを進め、健全な運営を目指す。

※シートの作成にあたっては「介護保険事業（支援）計画の進捗管理の手引き」（平成３０年７月３０日厚生労働省老健局介護保険計画課）３８ページ～を参照してください。

サービス見込量の進捗管理のための作業シート（令和元年度）

別紙様式 3

戸沢村 ←市町村名を選択してください

ステップ1：認定率の比較

		(%)				認定者数（9月末）（人）		第1号被保険者数（9月末）（人）	
		計画値	実績値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法	計画値	実績値	計画値	実績値
要介護認定率		20.2%	19.8%	0.4%	死亡などの自然減がある一方、新規の認定申請があつての結果であるため、認定率は実質減っていないというのが現状。全体的には大きな差異はないが、要支援者の人数が減少していることから、要支援者からの重症化と疾病等によって認定に至ったと思われる。	361	347	1,785	1,750
年齢階級	前期高齢者	—	3.7%	—			29	817	779
	後期高齢者	—	32.7%	—			318	968	971

認定者数・被保険者数 …地域包括ケア「見える化」システム出力データを活用

計画値については、

①"実行管理"画面からダウンロードした「総括表」の値 又は

②"将来推計"画面からダウンロードした「第7期計画策定にかかる将来推計総括表」の(1)推計値サマリの値を記載。

実績値については介護保険事業状況報告月報（9月記載月分）の

様式1 1. 一般状況(1)第1号被保険者数の当月末現在欄

様式1の5 1. 一般状況（続き）(10) 要介護（要支援）認定者数 ①総数 より、合計欄 をそれぞれ記載する。

ステップ2：受給率の比較

受給率…サービスごとの受給者数／被保険者数

		(%)				受給者数（人）															
サービス名		計画値	実績見込値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法	計画値 （月あたり×12ヶ月）	計画値 （月あたり）	実績見込値 （平均×12ヶ月）	平均実績 （月あたり）	5月月報	6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
居宅サービス	訪問介護	2.2%	1.5%	0.7%	介護度の重症化に伴い、施設利用が増えたとみられる。	480	40	317	26	26	26	28	28	28	23	27	27	24	30	24	26
	訪問入浴介護	0.3%	0.3%	0.0%		60	5	67	6	4	5	5	5	6	6	6	5	5	7	7	6
	訪問看護	1.3%	0.9%	0.5%	介護度の重症化に伴い、施設利用が増えたとみられる。	288	24	179	15	12	16	14	13	12	14	15	15	18	18	17	15
	訪問リハビリテーション	0.0%	0.1%	-0.1%		0	0	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	居宅療養管理指導	0.6%	0.5%	0.0%		120	10	111	9	9	9	11	10	9	7	10	11	8	9	9	9
	通所介護	4.9%	4.5%	0.4%		1,044	87	942	79	78	81	82	83	83	82	82	84	79	70	68	70
	通所リハビリテーション	1.2%	0.9%	0.3%		264	22	191	16	15	15	16	16	16	17	17	18	17	16	14	14
	短期入所生活介護	1.7%	1.3%	0.4%		372	31	281	23	26	26	26	24	24	22	19	22	23	25	24	20
	短期入所療養介護（老健）	0.1%	0.0%	0.0%		12	1	9	1	0	1	1	2	0	1	0	1	1	2	0	0
	短期入所療養介護（病院・医療院）	0.0%	0.0%	0.0%		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福祉用具貸与	7.5%	6.6%	0.9%	介護度の重症化に伴い、施設利用が増えたとみられる。	1,608	134	1,390	116	121	125	128	132	119	118	111	114	111	110	102	99
	特定施設入居者生活介護	0.3%	0.3%	0.1%		72	6	60	5	5	4	4	4	4	4	4	4	6	6	7	8
介護予防支援・居宅介護支援		12.0%	10.5%	1.5%	要支援者が減少しているためとみられる。	2,568	214	2,207	184	190	193	202	198	190	187	183	185	180	173	161	165
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	0.0%	0.0%	0.0%		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	夜間対応型訪問介護	0.0%	0.0%	0.0%		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域密着型通所介護	1.9%	2.2%	-0.3%		408	34	472	39	40	41	41	41	41	42	38	38	38	38	37	37
	認知症対応型通所介護	0.2%	0.1%	0.1%		48	4	22	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	1	4
	小規模多機能居宅介護	0.0%	0.0%	0.0%		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症対応型共同生活介護	0.3%	0.2%	0.1%		72	6	41	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	3	4	4
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0.0%	0.0%	0.0%		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域密着型介護老人福祉施設	0.0%	0.0%	0.0%		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設サービス	看護小規模多機能型居宅介護	0.0%	0.0%	0.0%		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護老人福祉施設	4.8%	4.6%	0.2%		1,032	86	972	81	81	79	79	82	83	79	80	80	80	83	83	83
	介護老人保健施設	1.0%	1.4%	-0.3%		216	18	284	24	25	26	23	21	21	22	23	25	25	24	24	25
	介護療養型医療施設	0.0%	0.0%	0.0%		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護医療院		0.0%	0.0%	0.0%		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

↑自動計算

↑自動計算

↑自動計算

地域包括ケア「見える化」システム出力データを活用

①"実行管理"画面からダウンロードした「総括表」のうち「総括表詳細（1）シート」の計画値 又は

②"将来推計"画面からダウンロードした「第7期計画策定にかかる将来推計総括表」の
（2）サービス別給付費 の1月当たり利用者数（介護予防サービス・介護サービス計） を記載

介護保険事業状況報告月報より、次の様式に係る 各月それぞれの「合計欄」（最右列）を転記。

「様式1の7 1. 一般状況（続き）(14)居宅介護(介護予防)サービスのサービス別受給者数【現物給付分】」

「 同 (16)地域密着型（介護予防）サービスのサービス別受給者数【現物給付分】」

「様式1の6 1. 一般状況（続き）(13)施設介護サービス受給者数」

ステップ3：受給者1人あたり給付費の比較

受給者一人当たり給付月額… 給付費総額／サービスごとの受給者数
(円)

サービス名		計画値	実績見込値	差異	差異について考えられる要因やその確認方法
居宅サービス	訪問介護	65,219	84,235	-19,017	介護度の重症化に伴い、施設利用（特定施設入居者生活介護）が増えたか、もしくは重度化によってサービス単価が上昇したとみられる。
	訪問入浴介護	52,200	43,075	9,125	
	訪問看護	23,587	31,143	-7,556	
	訪問リハビリテーション	#DIV/0!	67,752	#DIV/0!	最上管内に事業所がないため計画では利用を見込んでいなかったが、区内地方などの事業所の利用があったため。
	居宅療養管理指導	7,717	10,559	-2,843	
	通所介護	71,242	68,738	2,505	
	通所リハビリテーション	61,992	51,287	10,705	最上管内に1事業所しかなく、新規利用者を受け入れていないためと考えられる。
	短期入所生活介護	52,548	60,654	-8,106	
	短期入所療養介護（老健）	92,083	47,506	44,577	送迎可能だった事業所が送迎サービスをやめたことにより利用者が減少したとみられる。
	短期入所療養介護（病院・医療院）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	福祉用具貸与	10,598	10,491	106	
	特定施設入居者生活介護	146,222	199,015	-52,793	2024年10月末からの2025年3月末までの要介護度等の認定状況を確認すると、全体的に微増となっている。また、施設入所者数も微増している。介護度の重度化が進み、サービス単価の上昇と介護報酬改定が影響を及ぼしていると考えられる。
介護予防支援・居宅介護支援		12,273	13,070	-798	
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	夜間対応型訪問介護	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	地域密着型通所介護	160,113	166,391	-6,278	
	認知症対応型通所介護	48,521	96,183	-47,662	年度末にかけて需要が増えたため。
	小規模多機能居宅介護	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	認知症対応型共同生活介護	239,986	258,734	-18,748	介護度の重症化に伴い、施設利用（特定施設入居者生活介護）が増えたか、もしくは重度化によってサービス単価が上昇したとみられる。
	地域密着型特定施設入居者生活介護	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	地域密着型介護老人福祉施設	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	看護小規模多機能型居宅介護	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
施設サービス	介護老人福祉施設	218,977	235,410	-16,434	介護度の重症化に伴い、施設利用（特定施設入居者生活介護）が増えたか、もしくは重度化によってサービス単価が上昇したとみられる。
	介護老人保健施設	239,319	255,366	-16,046	介護度の重症化に伴い、施設利用（特定施設入居者生活介護）が増えたか、もしくは重度化によってサービス単価が上昇したとみられる。
	介護療養型医療施設	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
	介護医療院	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

給付費

(千円)

計画値（年計）
31,305
3,132
6,793
0
926
74,377
16,366
19,548
1,105
0
17,041
10,528
31,516
0
0
65,326
2,329
0
17,279
0
0
0
0
225,984
51,693
0
0

(円)

実績見込値 (平均×12ヶ月)	平均実績 (月あたり)	5月月報	6月月報	7月月報	8月月報	9月月報	10月月報	11月月報	12月月報	1月月報	2月月報	3月月報	4月月報
26,702,577	2,225,215	2,741,805	2,551,059	2,731,878	2,502,261	2,387,664	1,822,338	2,067,606	2,540,295	1,778,238	2,216,439	2,133,369	1,229,625
2,886,021	240,502	187,218	246,735	214,938	214,929	250,650	239,085	279,216	188,865	143,514	394,659	275,067	251,145
5,574,609	464,551	308,187	427,860	456,678	442,440	484,425	447,966	520,758	569,979	482,391	505,818	517,077	411,030
813,024	67,752	67,680	72,540	72,540	64,710	72,540	64,710	64,710	73,026	73,026	57,258	65,142	65,142
1,172,079	97,673	73,287	103,392	98,145	118,458	115,911	90,810	103,626	138,447	77,580	82,161	83,061	87,201
64,750,851	5,395,904	5,863,149	5,906,853	6,039,882	5,404,815	5,650,416	5,370,660	5,710,932	6,015,699	5,307,471	4,874,580	4,515,903	4,090,491
9,795,834	816,320	753,813	783,387	855,252	800,532	885,114	915,876	852,093	901,224	850,950	804,591	729,972	663,030
17,043,878	1,420,323	1,614,396	1,454,557	1,322,428	1,971,036	1,550,664	1,218,888	1,177,848	1,150,416	1,657,260	1,310,706	1,508,049	1,107,630
427,554	35,630	0	21,915	32,022	107,163	0	157,320	0	48,087	13,536	47,511	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14,582,898	1,215,242	1,314,895	1,360,516	1,347,877	1,360,647	1,282,959	1,239,975	1,224,747	1,275,516	1,143,063	1,043,550	1,016,658	972,495
11,940,921	995,077	1,035,783	852,849	881,217	852,849	881,217	902,052	853,146	892,494	911,250	1,260,486	1,162,035	1,455,543
28,845,740	2,403,812	2,471,690	2,511,550	2,584,790	2,484,730	2,500,070	2,384,010	2,340,030	2,473,760	2,331,950	2,297,570	2,198,030	2,267,560
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
78,536,452	6,544,704	6,604,550	6,667,289	6,954,792	6,720,966	6,967,305	6,662,304	6,370,686	6,193,440	6,438,672	6,606,180	6,082,227	6,268,041
2,116,017	176,335	160,092	171,270	202,851	141,957	178,695	100,602	122,022	114,363	230,652	91,746	126,864	474,903
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10,608,093	884,008	813,051	791,910	818,316	791,910	818,316	823,590	1,012,275	1,074,618	1,020,816	794,763	986,580	861,948
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
228,818,811	19,068,234	19,419,237	17,727,498	18,168,103	19,355,144	19,481,346	18,618,795	18,453,251	19,294,316	18,731,876	20,300,319	20,230,335	19,038,591
72,523,818	6,043,652	6,317,496	6,016,941	5,423,355	5,004,324	5,674,806	5,819,733	6,259,896	6,557,544	6,384,348	5,683,725	6,908,679	6,472,971
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

介護保険事業状況報告月報より 「様式2 2. 保険給付決定状況 (1)介護給付・予防給付 ①総数 エ給付費」の各月それぞれの「合計欄」（最右列）を転記。

ステップ4：サービス提供体制に関する現状と課題

住民や利用者の意識の向上ができていない。事業所もなかなか自立支援に力を入れることができていないため、従来のような御用聞きのようなサービスが多いことで、介護負担軽減にはつながっても、本人の状態改善にはならず重度化を進めてしまっている現状にあるとみられる。
今後は、ケアプラン点検などで給付の内容をチェックすると共に、外部評価制度を導入し、具体的に事業所のサービスの現状を点数化し、公表していく。また、ケアプラン作成者・サービス提供者・利用者・介護者などに向けて、自立支援への理解を深めてもらう必要があるため、周知を強め、事業所向けには研修なども開催する。また、総合事業のサービスや住民による通いの場作りなどにも力を入れていく。

地域包括ケア「見える化」システム出力データを活用

- ①"実行管理"画面からダウンロードした「総括表」のうち「総括表詳細 (5) シート」の計画値 又は
- ②"将来推計"画面からダウンロードした「第7期計画策定にかかる将来推計総括表」の (2)サービス別給付費 の年間累計給付費（介護予防サービス・介護サービス計）を記載